



郷ノ浦港での今西さん

「ロックとロール@TR OL vol.04」が24日夜、西太一ライブが24日夜、郷ノ浦町、洋食と珈琲の店・トルドで開かれ、観客は今西さんの迫力のライブで大いに盛り上がった。

＊「今西太一ライブ」は熱い夜となった。

今西さんの九州ツアーは4日間連続で、鹿児島から始まり宮崎、佐賀、そして

迫力の歌とギター弾き語り 壱岐FMにも生出演 トルド・『今西太一ライブ』



会場で観客と写る今西さん(前列中央)

歌、パフォーマンスであった！
神戸など阪神・淡路大震災の時も、歌手、俳優・泉谷しげるさんと共に、真つ先に現地へ行って「復興支援&復興支援ライブ」を被災した各地を巡って行った。昨年の東日本大地震では今でも、若手ミュージシャンを引き連れて2か月に1回のペースで、福島ライブを行っている。

再び壱岐に来ることを約束して、今西さんは翌25日、次のライブ会場がある京都へと旅立っていった。ギターを背中に背負って、日本中を歩く彼は、今日も日本のどこかで歌っているのだろう。

＊1965年生まれの前西さんは夜のライブの前に、壱岐FMの放送に出演、生の弾き語りをしました。

記・グーフィー

アンコール含め13曲熱唱 次回はクリスマスライブを予定 KUMAバンドライブ

壱岐で活動しているロックバンド・KUMAバンドのライブが、25日午後8時

から、洋食と珈琲の店「トルド」(郷ノ浦町)で開催された。

今回のライブは全てオリジナル曲で、久間英明さん

(ボーカル)が今年亡くなったお母さんを想って作曲したという「マザー」や十八番の「二人の思い出」、宝島継吾さん(ドラム)作曲の「砂浜ロックンロール」など、10曲を披露。

バラードでは静かに聴き入っていた観客はアップテンポな曲になると、一気にヒートアップして大いに盛り上がり、会場は熱気に包まれた。



KUMAバンドのライブ

アンコールでは、「もう一曲！もう一曲！」との観客のリクエストに、久間さんも声を枯らしながら、70年代を代表するロックのスーパーグループ・イーグルスの名曲「ホテルカリフォルニア」など3曲を熱唱。約1時間のライブが終了。まだ聴きたい」との余韻を残しながらも、皆満足した顔で店を後にした。

KUMAバンドは、今回のライブとして12月にクリ

生きていて三度三度の箸洗う
逝きし人不死鳥のごと我が胸に
人は皆絆もたつて恩送り
恋の秘話生きた証に書き記す
被爆して命を拾い今がある
晩年は自然のままに生きてみる
孫誕生喜び分かち祖父は居ず
産声も高らかに生 主張する
生命懸け吾子生みしは花の春
頑固一徹生きる哲学ちゃんを持ち
現世に生きる試練の長い坂
若者の生きがい叶う世の中に
人生は未知なる老いに挑戦し
清貧を誇りと生きた父の書架
人 生きるため海女立ち向かう時化の海
地 生きるため農夫黙って汗を拭く
天 川柳は私を支え 生きがいに
軸 両親がくれた力が生きる糧

皆の作る
市民の
「声」を
募っています。



壱岐新報社

あしべ文芸第214号
川柳作品集より

「生きる」

朝起きて生きた証に水一杯
生きて来たこの先二人健康で
暗がりにも明かりが点り再生す
螢の灯七日の命胸つまる
生きていて走れば走る影法師
生きている証に祝う誕生日
生きるため幸せ求め日々励む
生きがいに始めたゴルフやみつきに
生き甲斐に興味をいかしてリフレッシュ
生きるのびることが親への恩返し
人生は楽も苦もあり生きてこそ
生きてれば悲喜交々の六十路坂
被災地に生きる力を皆の手で

松本美英子
中村二枝
横山幸子
栗島其枝
松永扶巳
竹尾久恵
松永純子
松本美英子
高内絹子
中村二枝
高内絹子
松永純子
立石秀子

皆の作る
市民の
「声」を
募っています。



壱岐新報社



この妻籠宿の町並み保存を支えているのは「売らない。貸さない。壊さない。」という、三原則を盛り込んだ住民憲章で、住民が団結して、単なる観光地とは異なった文化財を、守ろうとする誇り高い精神力なのだと思います。

《短歌とエッセイ》市山 節子
中山道の妻籠(長野県)

江戸時代の大名行列浮かびきて妻籠宿場の町並みあるく
ひっそりと水車がまわる町かどに昔の日本のムードただよう
干し柿が二階の軒に吊るされて白き障子に朱色ののれん
民宿の番傘さすと和紙の音 雨のしずくがぱらりぱらりと
堅繁(たてしげ)の格子の間より明かりもれお泊まり客の人影うごく
夕暮れに妻籠の家並みにぼつぼつと童話のような行灯(あんどん)とるる

妻籠(つまご)の人々の団結力

妻籠宿は、中山道の宿場として江戸時代に栄えた所です。しかし、JR中央線と国道19号線が木曾川に沿って走るようになってから、すっかりさびれて忘れられた存在になった事が、妻籠に古い町並みを残す事になりました。

ここには、電柱やコンクリートの家など、目ざわりなものは全く見あたりません。卯建(うだつ)の上がった家も多く、卯建は防火壁の一種で、妻の壁を切つて、妻の屋根より高くして二階に袖壁をつけたものです。この建築には高いお金がかかった事から「卯建があがらない」という言葉ができたそうです。

それから昭和40年代になって、過疎問題に直面した折、古い町並みを生かそうと、地域ぐるみで修復し、保存する事に努めてきました。そして、昭和51年に、重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

妻籠宿は、中山道の宿場として江戸時代に栄えた所です。しかし、JR中央線と国道19号線が木曾川に沿って走るようになってから、すっかりさびれて忘れられた存在になった事が、妻籠に古い町並みを残す事になりました。

ここには、電柱やコンクリートの家など、目ざわりなものは全く見あたりません。卯建(うだつ)の上がった家も多く、卯建は防火壁の一種で、妻の壁を切つて、妻の屋根より高くして二階に袖壁をつけたものです。この建築には高いお金がかかった事から「卯建があがらない」という言葉ができたそうです。

それから昭和40年代になって、過疎問題に直面した折、古い町並みを生かそうと、地域ぐるみで修復し、保存する事に努めてきました。そして、昭和51年に、重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

美術展

○場所 1階 テーマ展示室
○入場無料 3階 多目的交流室

絵と書二人展

画家、マークエステル・スキャルシャフィキと書道家、小林芙蓉による絵画と書の二人展です。

○会期 10月5日(金)～10月28日(日)

壱岐市民絵画・写真展

「壱岐の歴史的なもの」をテーマに、壱岐市民から寄せられた絵画作品・写真を展示します。

○会期 11月2日(金)～11月25日(日)

音楽祭

○場所 3階 多目的ホール
○各イベント先着150名とさせていただきます。

日韓打楽器競演

○日時 10月8日(祝)13:00開場 13:30開演
○入場無料
○演奏 韓国民族打楽器演奏グループ「ビビムタ」
玄海怒涛太鼓

マンドリンコンサート

日本の抒情歌と、昭和の歌姫・美空ひばり特集でお楽しみください。

○日時 11月4日(日)13:30開場 14:00開演
○入場無料
○演奏 太宰府マンドリンクラブ

一支国浪漫コンサート2012

クラシックとオペラの親しみやすい楽曲を織り交ぜたコンサートをお届けします。

○日時 11月11日(日)13:30開場 14:00開演
○入場 一般500円
高校生以下300円
＊未就学児不可
窪田脩子(ピアノ)
横山浩平(声楽・バリトン)ほか

